

個人質問

投票率アップと  
本市の環境対策を目指して

秋葉 好美 議員



問 初めに7月21日に行われました参議院選挙の投票率について伺います。過去の投票率の推移に比べて、今回の投票率は如何だったのかお聞かせ下さい。

答 平成28年7月に執行されました参議院選挙の投票率は53.31%でございました。また平成29年10月に執行されました衆議院選挙の投票率は51.29%でございました。今回の参議院選挙の投票率が48.91%でしたので前回の参議院選挙と比較して4.4%、衆議院選挙と比較しても2.38%の低下といった状況です。

問 18歳・19歳の投票率は如何だったのか、また、この18歳・19歳の世代の投票率をアップさせるのにどのようなにお考えなのか、2点についてお聞かせ下さい。

答 投票システムを導入しています第1、第4、第10の投票所から抽出した結果をお答えいたします。18歳・19歳の投票率を算出したところ、18歳が48.11%、19歳が29.14%でございました。また若い世代の投票率アップについての取り組みとして、毎年、大網高校の生徒を対象に、国民の権利として政治に参加する手段である選挙制度の重要性や模擬投票を通じて選挙に関心を持つてもらえますように出前講座を実施しています。また期日前投票所におきましては、大学生を臨時雇用し投票事務に従事していただくなど、選挙への関心と制度を体験できるよう努めています。

問 次に再生可能なエネルギーについて伺います。太陽光発電の設置に対するガイドライン及び事業者に対して、地域住民への事前説明会の対

応について、お聞かせ下さい。

答 太陽光発電の設置に対するガイドラインは、災害の防止、環境、景観の保全、市民の安全・安心を確保するため、法令上の規制が適用されない場合であっても地域住民との合意形成に基づき、事業者の自主的に適正な太陽光発電設備の設置・管理を促すことを目的としています。事前協議や地域住民への説明会の開催の遵守について丁寧な説明に努めています。

問 反射光や反射熱の対応について伺います。住宅街と山間部では、パネルの設置の条件が違うのではないですか。住宅地などでは人体への影響、また環境への配慮など、どのように考えているのか、その上で住民説明会等されているのかお聞かせ下さい。

答 住宅地に近接して設置される太陽光発電設備につきましては、周辺住民の生活環境に配慮した適切な設計をおこなうことが求められるものと考えております。

問 業者への対応について、再度伺います。国の施策なので、地域の皆様も「やっではないけない」「太陽光を取り付けてはいけない」とは言えませんが、ある程度は納得する説明をしてほしいと、強く要望があります。如何かお聞かせ下さい。

答 地域住民から事業計画に対する要望や意見については誠意をもって対応し、合意形成に努めることと定めております。事業者への指導につきましては、市との事前協議において事業者から提出される住民説明会の結果報告書の対応内容を精査し、住民に配慮して誠実に対応すること強く求めています。

個人質問

①水道料金値下げ②市民の足の確保  
③市バスの利用規則変更

蛭田 公二郎 議員



①水道料金値下げについて

問 私どもが今年4月から5月にかけて実施した市政アンケートでは「暮らし・環境について望むことは何ですか」との質問に対して、12個の選択項目のうち水道料金の引き下げが断然トップ。理由やご意見をお寄せくださいとの欄には、多くの皆さんから声が寄せられました。市長は、水道料金の値下げを求める市民の声にどのように応えていくお考えですか。

答 市といたしましては、県内水道の統合広域化が円滑に進み、少しでも水道料金の低下につながるよう、今後とも関係市町村と連携し、県に働きかけてまいりたいと考えております。

問 千葉市でも、今年3月13日に千葉市水道局が発表した「水道事業の統合、広域化の現状」についてという文書の中で、千葉市としても他に遅れることなく統合を推進するという方針をうだしました。統合に向けての動きが強まる中です。統合広域化を積極的に進め、家庭用水道料金の値下げを実現して頂くことを改めて要望します。

②市民の足の確保について  
問 山武郡市内の東金市、山武市、横芝光町、芝山町、また、お隣茂原市も運行している乗合タクシー、運行していないのは、九十九里町と大網白里市だけです。

乗合い合いタクシーというのは、利用登録をまずする、利用登録した方からの電話予約を受けて自宅から目的地まで乗合い利用する公共タクシーということですが、利用を希望した人がほかにいる場合には、乗合いで送迎するというものです。東

個人質問

大網駅南地区整備構想の進捗状況

北田 宏彦 議員



問 第6次総合計画の市民参加の取り組み状況について伺いたい。

答 アンケート、各種団体意向調査、市民懇談会、タウンミーティングを開催しご意見や課題を反映していく。次期総合戦略の策定方針、時期について伺いたい。

答 本年度中に策定する。また、次期総合計画や他の個別事業計画と十分整合を図り策定する。

問 大網駅南地区の整備について伺う。昨年度の勉強会で駅前広場やアクセス道路のおおむねの位置を示し、今年度は8月にアンケート調査を実施しているが、どのように駅南口整備を進めていくのか伺いたい。

答 駅南地区の将来像や立地施設、土地の活用、まちづくり協議会の参加意向についてお聞きした。今後、調査結果を参考とし大網駅南地区まちづくり基本構想案のたたき台の作成、(仮称)大網駅南地区まちづくり協議会の設立を検討していく。

勉強会を重ねて土地所有者、権利者の方々も具体的な進捗を求めているとの話も聞く。まちづくり協議会の設立に鋭意取り組んで頂きたい。農業用排水路の整備について。

問 多面的機能支払交付金の運用基準の見直しにより水路改修などが難しくなったと聞く。対応について伺う。

答 運用基準が改正されたが例外として県の同意を得て200万円以上の工事を実施することも可能とされている。他の補助制度を調査し地元負担の軽減に配慮し検討していく。

問 柳橋地区の農業用排水路の整備について伺う。当初は建設課が整備計画したが行わず、所管を農業振興課に移しても整備できない。どのように整備を進めるのか。

答 木崎地区、北吉田地区を含めた整備について検討を始め、当該排水路についても建設課で検討していく。

問 消防ポンプ自動車の更新及び消防機庫の建替えの進捗を伺いたい。

答 消防車両は平成30年度に2台更新、消防機庫については平成29年度に1棟の建替えを行った。

問 消防水利の充足率と予算措置状況を伺いたい。

答 充足率は、現在91.7%で本年度については厳しい財政状況を踏まえ、事業を見送る。

問 今後の整備方針については。

答 消防力が損なわれないよう整備に努めていく。

既に水利不便地域での建物火災が複数回発生している。

厳しい財政状況は承知しているが、火を消すための水であり、自らの命を守る水でもある。消防施設整備計画に基づき着実に実行して頂きたい。

問 土砂災害警戒区域の崩落対策工事の実施状況について伺いたい。

答 萱野地区、大網本宿地区、大網笹田地区で対策工事を実施した。

問 児童相談所の児童虐待相談件数が増加している。本市の状況及び対応について伺いたい。

答 平成30年度の相談は81件、関係機関と緊密に連携を図り適切な支援を行っている。

問 登下校時の子どもの安全確保の状況及び対応を伺いたい。

答 関係機関等との連携を密にしながら安全対策の強化に取組んでいく。

問 学校給食費等の徴収は公会計が担っていくべきである。本市の対応について伺いたい。

答 教職員の負担軽減に対する取組みを促進していく。